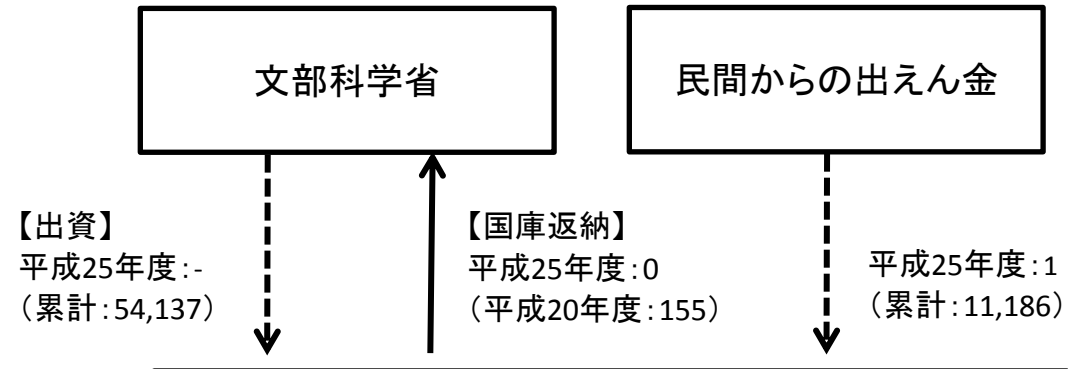


平成26年基金シート (文部科学省)						
基金名	芸術文化振興基金	担当部局	文化庁		作成責任者	
法人名	(独) 日本芸術文化振興会	担当課室	長官官房政策課独立行政法人支援室		室長 山下 登	
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人日本芸術文化振興会法(平成14年法律第163号)第16条	関係する計画、 通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)	関係する行政事 業レビューシー ト		
事業の目的	芸術文化振興基金は、すべての国民が、芸術文化に親しみ、自らの手で、新しい文化を創造するための環境の醸成と、その基盤の強化を図る観点から、芸術家及び、芸術に関する団体が行う、芸術の創造又は、普及を図るための活動、その他の文化の振興又は、普及を図るための活動に対する援助を、継続的・安定的に、行うことを目的としている。					
事業概要 (5行程度。別 添可)	(1) <input type="checkbox"/> 取り崩し型 <input type="checkbox"/> 回転型 <input type="checkbox"/> 保有型 <input checked="" type="checkbox"/> 運用型 <input type="checkbox"/> その他 (2) <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> 債務保証 <input type="checkbox"/> 利子助成、補給 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 補てん <input type="checkbox"/> 出資 <input type="checkbox"/> 調査等 <input type="checkbox"/> その他 芸術文化振興基金は、すべての国民が芸術文化に親しみ、自らの手で新しい文化を創造するための環境の醸成とその基盤の強化を図る観点から、芸術家及び芸術に関する団体が行う芸術の創造又は普及を図るための活動、その他の文化の振興又は普及を図るための活動に対する援助を継続的・安定的に行うことを目的として設立。 約653億円(政府からの出資金約541億円、民間からの出えん金約112億円)の基金を原資として、その運用益をもって芸術文化活動に対して支援している。					
基金への国庫からの支出の経緯 ①	基金設置年度	平成元年度	当初/補正 (会計区分)	補正(一般会計)	国費額 (単位:百万円)	50,000
	目的	芸術文化振興基金の設立に係る出資				
基金への国庫からの支出の経緯 ②	追加年度	平成13年度	当初/補正 (会計区分)	当初(一般会計)	国費額 (単位:百万円)	3,000
	目的	芸術文化振興基金への増資				
基金への国庫からの支出の経緯 ③	追加年度	平成15年度	当初/補正 (会計区分)	—	国費額 (単位:百万円)	1,137
	目的	独立行政法人化に係る政府出資				
国庫納付の経緯 ①	年度	平成20年度			国庫納付額 (単位:百万円)	155
	理由	第一期中期目標期間の最終年度における積立金の国庫納付				
終了予定時期	終了時期の設定無し。芸術文化振興基金による我が国の芸術文化活動に対する支援は、芸術文化振興の基盤を強化するものとして今後も必要であるため。					
過去に実施した見直しの概要	○文化庁の助成事業(芸術創造活動重点分野推進支援事業、文化芸術振興費補助金)及び事業に関する事務を日本芸術文化振興会に移管した(独立行政法人整理合理化計画(平成19年12月24日閣議決定))。 ○不正防止策を強化するとともに、受給団体のガバナンス強化に対する支援を行うこととした。(独立行政法人改革等に関する基本的な方針(平成25年12月24日閣議決定))					
収入・事業費等 (単位:百万円)	収入	国費 (補助金等)	23年度	24年度	25年度	26年度見込み
		出資等	0	0	1	0
		運用収入 (うち国費見合額)	1,260	1,173	1,435	1,102
		運用収入 (うち国費見合以外)	260	243	297	228
		その他	26	32	16	17
		前年度末 基金残高	65,367	65,310	65,326	65,781
		(マイナス)返納額	—	—	—	—
		合計(a)	66,913	66,758	67,075	67,128
	事業費等	交付額	1,447	1,282	1,140	1,164
		管理費	156	150	154	182
		合計(b)	1,603	1,432	1,294	1,346
	基金残高(a-b)		65,310	65,326	65,781	65,782
	(うち国費相当額)		54,137	54,137	54,137	54,137

成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度 活動見込み	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム) 助成事業の実施にあたっては、以下のような取組を行うことにより、助成団体における助成事業の迅速な実施や効率的な助成金の執行などが推進されている。これにより、交付決定後の助成事業の取り下げや助成金の不要等による返納の抑制など、助成金の効果的・効率的な執行に効果を上げている。 (芸術文化振興基金による助成の実施にあたっては、文化庁委託事業である文化芸術振興費補助金による助成と併せて事業が実施されるため成果実績・目標値については合算した値を記載する) ①助成対象活動について外部有識者、プログラムディレクター及びプログラムオフィサー等による会計調査・公演調査等の実施。 (成果実績・目標値→会計調査・公演調査等件数) ②事務手続き等の簡素化・合理化 (成果実績・目標値→交付申請書受理から交付決定までの期間) ③芸術文化振興基金ホームページの利便性向上 (成果実績・目標値→アクセス件数)	成果実績①		件	654	821	1,058	-	
	目標値①		件	300	350	490	490	
	達成度①		%	218.0	234.6	215.9	-	
	成果実績②		日	26.6	20.9	21.2	-	
	目標値②		日	40.0	40.0	35.0	35	
	達成度②		%	150.4	191.4	165.1	-	
	成果実績③		件	134,572	124,887	141,800	-	
	目標値③		件	126,000	126,000	129,000	129,000	
	達成度③		%	106.8	99.1	109.9	-	
成果目標の 達成度の評価	①～③の目標値について、いずれも平成24年度より高い目標値が設定されたがその全てについて達成されている。平成23年度及び24年度と比較しても成果実績が良好である。以上2点から、事務の効率化等がなされ、効果的な助成が行われたことが認められる。							
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標(目標年度)			単位	23年度	24年度	25年度	26年度 活動見込み
	○文化芸術活動に対する援助 ・芸術文化振興基金等による助成実績	活動実績(当初見込み) (単位:百万円)	補助・ 補てん	件:金額	814 : 1,447 (852 : 1,497)	745 : 1,282 (781 : 1,334)	686 : 1,140 (745 : 1,213)	- : - (705 : 1,172)
単位(1件)当たりの 事業費等	1,886,297(円/件)	算出根拠		平成25年度事業費等(1,294百万円)/平成25年度助成件数(686件)				
保有割合 (基金事業に要する費用に対する保有基金額等の割合)	1	算出根拠		[平成25年度収入(67,075百万円)-平成25年度収入中「前年度末基金残高」(65,326百万円)]/平成25年度事業費等(1,294百万円)				
基金の見直しの 状況	①使用見込みの低い基金等の該当の有無 (有 / (無))							
	【有の場合、該当する理由】							
	【使用見込みの低い基金等に該当する場合の検討結果】							
	【使用見込みの低い基金等を残置する場合の理由】							
	②点検・検査等の実施状況							
基金事業の審査等については各分野の専門家等外部の有識者らによる委員会にて行われるが、必要に応じて文化庁職員が委員会に出席し、審査の透明性等を確認している。また独立行政法人の評価においては評価委員に公認会計士を置き、基金の運用実績や財務諸表等を確認し評価を行っている。								
③その他								
所見/対応状況	基金の管理運用については、安全性を重視するとともに安定した収益の確保により継続的な助成が行われている。また、助成対象活動の採択にあたっては各分野の専門家等外部の有識者による客観的・専門的な見地に立った審査が行われ、さらに、法人として助成金交付事務の効率化にも努めている。これらのことから、芸術文化振興基金は、その設置趣旨を踏まえ、おおむね適切に執行されているものとする。今後も、安定した収益の確保による文化芸術活動への継続的な助成が期待される。							
補記	○基金の運用報告書等 芸術文化振興基金(http://www.ntjjac.go.jp/kikin.html)							

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)



芸術文化振興基金	
【前年度基金残高】65,326百万円	
【収入】	【支出】
出資等: 1	交付額: 1,140
運用収入: 1,732	管理費: 154
その他: 16	
前年度繰越し: 65,326	
合計: 67,075	合計: 1,294
【今年度基金残高】65,781百万円	

事業概要
芸術その他文化の振興又は普及を図るための活動に対し、助成金を交付する。

〈25年度助成金の交付実績〉
芸術文化振興基金の運用収入等を財源に助成金

A.【助成先】
公益財団法人 文楽協会
他 685件
1,140百万円

B.【管理費】
人件費、物件費
154百万円

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目と
 使途の双方で実
 情が分かるよう
 に記載)

A.公益財団法人 文楽協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
助成金	文楽地方公演 10月・3月(全国)	27			
計		27	計		0
B.管理費			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	給与等	107			
物件費	印刷製本費、通信運搬費等	47			
計		154	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要及び採択理由	支出額 (百万円)
1	公益財団法人 文楽協会	業務概要:文楽地方公演 10月・3月(全国) 採択理由:芸術の創造又は普及を図るための活動として優れているため	27
2	公益社団法人 日本劇団協議会	業務概要:高校生のための巡回公演 採択理由:芸術の創造又は普及を図るための活動として優れているため	25
3	公益社団法人 日本児童青少年演劇協会	業務概要:児童演劇地方巡回公演(僻地・離島公演) 採択理由:芸術の創造又は普及を図るための活動として優れているため	21
4	特定非営利活動法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭	業務概要:山形国際ドキュメンタリー映画祭2013 採択理由:芸術の創造又は普及を図るための活動として優れているため	20
5	特定非営利活動法人 東京フィルメックス実行委員会	業務概要:第14回東京フィルメックス/TOKYO FILMeX2013 採択理由:芸術の創造又は普及を図るための活動として優れているため	16
6	公益財団法人 サントリー芸術財団	業務概要:サントリー芸術財団サマーフェスティバル2013 採択理由:芸術の創造又は普及を図るための活動として優れているため	15
7	あいちトリエンナーレ実行委員会	業務概要:あいちトリエンナーレ2013プロデュースオペラ「蝶々夫人」 採択理由:芸術の創造又は普及を図るための活動として優れているため	10
8	公益財団法人 関信越音楽協会	業務概要:第34回草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバル 採択理由:芸術の創造又は普及を図るための活動として優れているため	10
9	公益財団法人 新日鉄住金文化財団	業務概要:紀尾井シンフォニエッタ東京定期演奏会 第89回～第93回 採択理由:芸術の創造又は普及を図るための活動として優れているため	10
10	公益社団法人 広島交響楽協会	業務概要:広島交響楽団 平成25年度 移動音楽教室 採択理由:芸術の創造又は普及を図るための活動として優れているため	10
11	公益財団法人 ニッセイ文化振興財団	業務概要:日生劇場開場50周年記念公演 青少年のための「日生劇場オペラ教室」第34回公演/NISSAY OPERA 2013 オペラ「フィデリオ」、採択理由:芸術の創造又は普及を図るための活動として優れているため	10

※1, 544件の応募があり、審査の結果上記11件を含む686件に助成金を交付した。